様式　１７

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 製造所の附近にある  保安物件の名称 | | | 当該保安物件から最短  距離にある危険工室等 | 保安距離及び当該  保安物件までの距離 | 土堤・簡易土堤  又は防爆壁の別 | | 判定 |
| 第一種 |  | | 爆発 ・ ㎏  発火 ・ ㎏  一時置場　　　 ・ ㎏ | ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ |  | | 適・否  適・否  適・否 |
| 第二種 |  | | 爆発 ・ ㎏  発火 ・ ㎏  一時置場　　　 ・ ㎏ | ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ |  | | 適・否  適・否  適・否 |
| 第三種 | （事業用・非事業） | | 爆発 ・ ㎏  発火 ・ ㎏  一時置場　　　 ・ ㎏ | ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ |  | | 適・否  適・否  適・否 |
| 第四種 | （事業用・非事業） | | 爆発 ・ ㎏  発火 ・ ㎏  一時置場　　　 ・ ㎏ | ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ  　 ｍ・ ｍ |  | | 適・否  適・否  適・否 |
| 検査項目 | | 検　　　査　　　内　　　容 | | | | 補正修正事項 | 判　定 |
| 標　　　識 | | 製造所入口付近の見易い場所に掲げてあるか。 | | | |  | 適・否 |
| 掲　示　板 | | 避難方法、消火活動等は明記されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 境　界　柵 | | 危険区域の周囲に、無用者が容易に立ち入れないように設けてあるか。 | | | |  | 適・否 |
| 警　戒　札 | | 危険区域の入口､危険区域及び製造所との境界の必要な箇所か｡  また､見易い場所であるか｡ | | | |  | 適・否 |
| 防火用空地 | | 森林内は境界柵沿いに巾２ｍ以上維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 危険区域内 | 施 　設 | 作業上やむを得ないものか。また、必要としなくなったものではないか。 | | | |  | 適・否 |
| 気かん室 | 固定燃料を使用していないか。 | | | |  | 適・否 |
| 保安間隔 | 停滞量に応じた距離は維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 爆発の危険工室 | 構造、材料は火焔、爆発に対して維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 一時置場 | 煙火の種類、停滞量により避雷装置を要するものではないか。 | | | |  | 適・否 |
| 爆発の危険工室 | 耐火構造は維持され、防火壁を要するものではないか。 | | | |  | 適・否 |
| 土　 　堤 | | こう配、高さ、厚さ等の基準は維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 簡易土堤 | | 〃 | | | |  | 適・否 |
| 防　爆　壁 | | 位置、構造、材質等の基準は維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 防　火　壁 | | 延焼を防止できる構造は維持されているか。 | | | |  | 適・否 |
| 延焼遮断装置 | | 常緑樹に枯れ等の異常はないか。 | | | |  | 適・否 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検査項目 | | 検　　　査　　　内　　　容 | | 補正修正事項 | 判　定 |
|  | | 別紙点検表のとおり・・・・・・・・・様式４５ | |  |  |
|  | | 貯水池等の水量、消火栓の機能は正常に作動するか。 | |  | 適・否 |
| 危険工室 | 防爆式構造 | 構造、厚さ、屋根、防爆面等の基準は維持されているか。 | |  | 適・否 |
| 扉 | 外側に開き、避難し易いか。金具には鉄と摩擦しない様真ちゅう等が使用されているか。 | |  | 適・否 |
| 窓 | ガラスは不透明なものを使用しているか。 | |  | 適・否 |
| 内 　面 | 土砂類のはく落、飛散を防ぐ構造に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 床 　面 | 鉄類は表われていないか。 | |  | 適・否 |
| 原動機 | 設置は隔壁で完全に仕切られた別室であるか。 | |  | 適・否 |
| 機械器具 | 確実に固定され、動揺、部品の脱落、腐食のないよう管理されているか。 | |  | 適・否 |
| 照明設備 | 電燈の安全な防護措置に異常はないか。また、室内に電動線の表われはないか。 | |  | 適・否 |
| 機械設備 | 金属部の接地に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 火薬類の粉塵の飛散 | カバー等の防止措置に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 加圧設備 | ストッパー、圧力計の作動に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 乾燥設備 | 温度測定装置は正常に作動するか。 | |  | 適・否 |
| 加温装置 | 火薬類の侵入しない措置に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 静電気の発生 | 帯電防止剤等の静電気除去措置に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 掲示板 | 火薬類の種類、停滞量、原料の種類、存置量、定員、取扱心得等は明記されているか。 | |  | 適・否 |
| 入 　口 | 静電気除去設備に異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 火薬類の飛散 | 天井、内壁に隙間はなく、水洗に耐え、表面は滑らかになっているか。 | |  | 適・否 |
| 普通木造建築物 | | 危険工室に面している場合の耐火措置は良いか。 | |  | 適・否 |
| 日　乾　場 | | 乾燥台の高さは良いか。また、放冷設備を要するものではないか。 | |  | 適・否 |
| 廃薬焼却場 | | 周囲の樹木雑草等は伐採してあるか。 | |  | 適・否 |
| 原料薬品貯蔵所 | |  | |  | 適・否 |
| 運　　搬 | 容　器 | 収納物に合った材料を使用しているか｡また蓋の取付けに異常はないか。 | |  | 適・否 |
| 手押車 | ゴム車輪等で衝撃を緩和できる構造か。 | |  | 適・否 |
| 通　路 | 路面は平坦であるか。 | |  | 適・否 |
| 検査を指揮監督した保安  責任者による記名、押印 | | |  | | |